



## ノーフォーク・サザン・ピア6ターミナル (NSP6)

石炭は *Norfolk Southern Corporation* の鉄道により気動車内でピア6ターミナルに輸送されます。船の積込準備が整うまで気動車は待機中となり、その時にデュアルカー・ロータリーダンパーの片方か両方に移動されます。石炭はAおよびA1として示される2つのコンベヤの一方に下ろされ、その後BおよびB1として示される2つの主要コンベヤの一方、船、はしけ、または貯鉱庫に向かうコンベヤへと続きます。

石炭が船またははしけに移動するにしたいが、**BおよびB1積込機械式試料採量方式**または**BおよびB1機械式部分流動試料採取機**で試料を採取することができます。すべてBおよびB1主要コンベヤにそれぞれ位置し、どちらも2400mm (96 in.) です。

すべてのシステムは *Precision Samplers Inc.* (PSI) により製造されました。積込機械式試料採量方式は 2011 年、機械式部分流動試料採取機は 2014 年に設置されました。すべての試料採量方式の設計と操作プログラムを下記に記載しています。

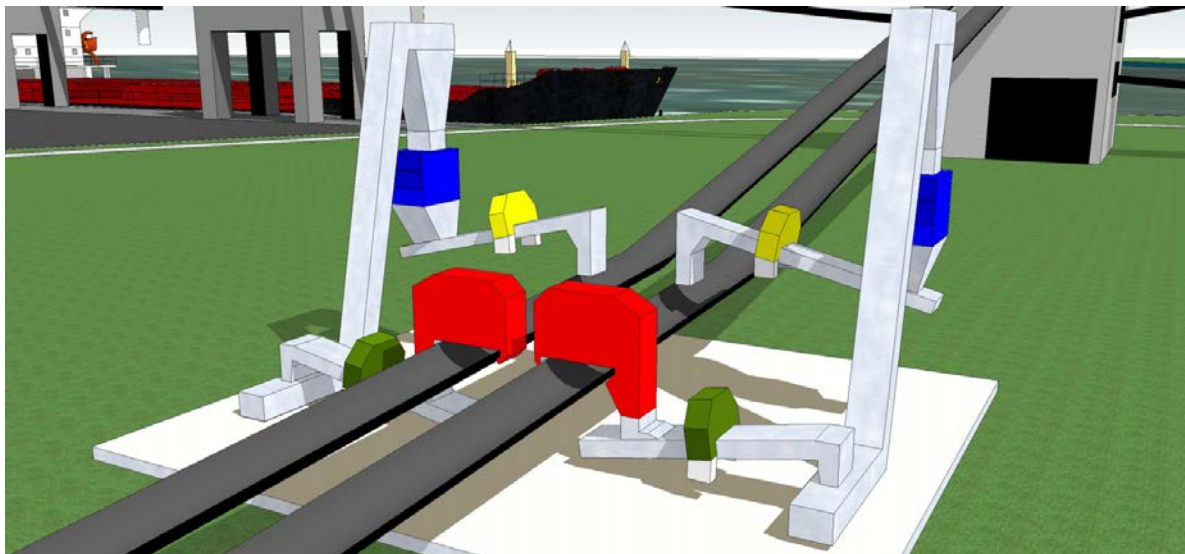
---

## B & B1機械式試料採量方式



(ここに記載される測定値や重量はおおよそのものであり、一般的な参考目的のためにのみ提供されます。)

システムの主要コンポーネント一覧が下記に記載されます。75mm x 0 (3 in. x 0) またはそれ未満の製品を受け入れる際は ASTM 規格以上で作動します。両システムの操作プログラムは一定を保ち、一般的に 5,000 または 10,000 トンのロットで試料を採取するカーゴに対応します。



**主要試料採取機**-このクロスベルト・コンポーネント(レッド)は主要コンベヤ(B または B1)(ダークグレー)の最低 1.5 倍の速度で作動し、40 秒毎に 90kg (200 lbs)のインクリメントを取り出します。切削工具の開口部は幅 225mm (9 in.) です。各インクリメントは主要フィーダーコンベヤに自重送りされます。施栓シュート指示計および振動子が、資材の流れを促すためにこのコンポーネントの乗り移りシュートに設置されています。

**主要フィーダーコンベヤ**-この幅600mm (24 in.) の囲い式コンベヤは0.1m/秒 (28 fpm) で作動し、試料資材を主要試料採取機からサイズバルク試料採取機を通り、フィーダー・フレックスウォール・コンベヤに届けます。施栓シュート指示計および振動子が、資材の流れを促すためにこのコンポーネントの乗り移りシュートに設置されています。

**サイズバルク試料採取機**-このコンポーネントは粉碎しない試料の収集に利用します。この試料はサイズ分析またはその他の特別試験のためのもので、標準的な化学分析のために収集される試料と区別されます。このクロスベルト・コンポーネント(グリーン)は主要フィーダーコンベヤの最低 1.5 倍の速度で作動し、それぞれ 5.0kg (11 lb.) のインクリメントを取り出します。それぞれに幅 225mm (9 in.) の開口部を備えた双頭切削工具で双方向に作動します。インクリメントは収集シュート付属の耐久型バッグへ自重送りされます。

**フィーダー・フレックスウォール・コンベヤ**-この側壁100mm (4 in.)、ころび止め88mm (3.5 in.) の「S」型コンベヤは、主要試料採取機のインクリメントを75度傾け1.1m/秒 (233 fpm) で粉碎機に届けます。資材は機械式叩解機ノッカー装置によってコンベヤヘッドから移動されます。

**ハンマミル粉碎機**-ジェフリー・レーダー34FTE粉碎機(ブルー)は、モーター、固定ハンマー付きローター、丸穴型ふるい分機の組み合わせで構成されます。ふるいの穴は16mm (5/8 in.) です。施栓シュート指示計および振動子が、資材の流れを促すためにこのコンポーネントの吸引口および吐出し口シュートの両方に設置されています。試料資材を4つのかみあい一番大きなサイズまで粉碎し、シュートを通して補助/リジェクトコンベヤまで自重送ります。

**補助フィーダー／リジェクトコンベヤ**-この幅450mm (18 in.) の囲い付きコンベヤは0.4m／秒 (84 fpm) で作動し、粉碎された資材を補助試料採取機を通して移動させます。最終保存試料のために保管しない資材は、関連コンベヤの主流に置き戻されます。

**補助試料採取機**-このクロスベルト・コンポーネント(イエロー)は、補助フィーダー／リジェクトコンベヤの最低1.5倍の速度で作動し、30秒毎に0.3kg (0.6 lb.) のインクリメントを取り出します。このコンポーネントは、それぞれに幅50mm (2.0 in.) の開口部を備えた双頭切削工具搭載設計です。インクリメントは収集シュート付属の耐久型バッグへ自重送りされます。

**保存試料率**-この試料採量方式は石炭1,000純トン毎に5.8kg (12.8 lb.) の最終保存試料を収集するよう設計されています。

---

## B & B1機械式部分流動試料採取機 (MPS)



2 台の機械式部分流動試料採取機 (MPS) は主に、対応する B または B1 機械式試料採量方式が作動不可になった場合にご利用いただける機械式試料採量装置の代替品です。この予備試料採量装置があることにより、人がコンベヤの外にて手で試料を採取する必要性がなくなり、そういった試料採量方法に起因する潜在的危害を避けることができます。MPS は MSS と連携してご利用いただけ、サイズ分析またはその他の特別な試験のために粉碎されていない余分な試料資材を収集することもできます。

各 MPS 収集設備は 2 台のスコップ(最下部、右写真)で構成され、これらは通常一体となって動作するよう設計されています。しかし、スコップの片方が故障した場合でももう片方のスコップは操作を続けることができます。試料のインクリメントは、各 MPS のサイド反対側にある 2 本の独立した収集チューブを通り、地盤面に位置する耐久型バッグに自重送りされます。インクリメントはそれぞれ最低 3.0kg (6.9 lbs.) の重量で、資材の種類や主要コンベヤの流量により異なります。試料採量の頻度は、必要な試料採取の種類に応じて調整可能です。



## 付加サービス

SAI はノーフォーク・サザンの施設およびハンプトン・ローズのエリアで、直接または当社の提携会社を通して付加サービスをご提供しています。例：試料採量方式評価と監査、トラックオーガ試料採取、温度監視調査、貨物点検、喫水検査。



このパンフレットに記載される情報は占有であり、予告なしに変更すること場合があります。

